

# LIXIL 間仕切りタイプ

## 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>



**警告**

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。



**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。



**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 の区分16(C種)以上で施工してください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

## <施工上の注意>



**注意**

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱の低部についているモルタル防止キャップ（テープ含）や柱補強材は取外さないでください。また柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## ■ 梱包明細表

### 【1】 フェンス

名称	略図	員数
フェンス本体		1

### 【2】 主柱

名称	略図	員数
主柱 (T-6A,T-8A)		1
主柱 (T-8B,T-10B,T-10C)		1

### 【3】 端柱

名称	略図	員数
端柱 (T-6A,T-8A)		1
端柱 (T-8B,T-10B,T-10C)		1

### 【4】 角柱

名称	略図	員数
角柱		1

### 【5】 LM主柱・LM端柱部品

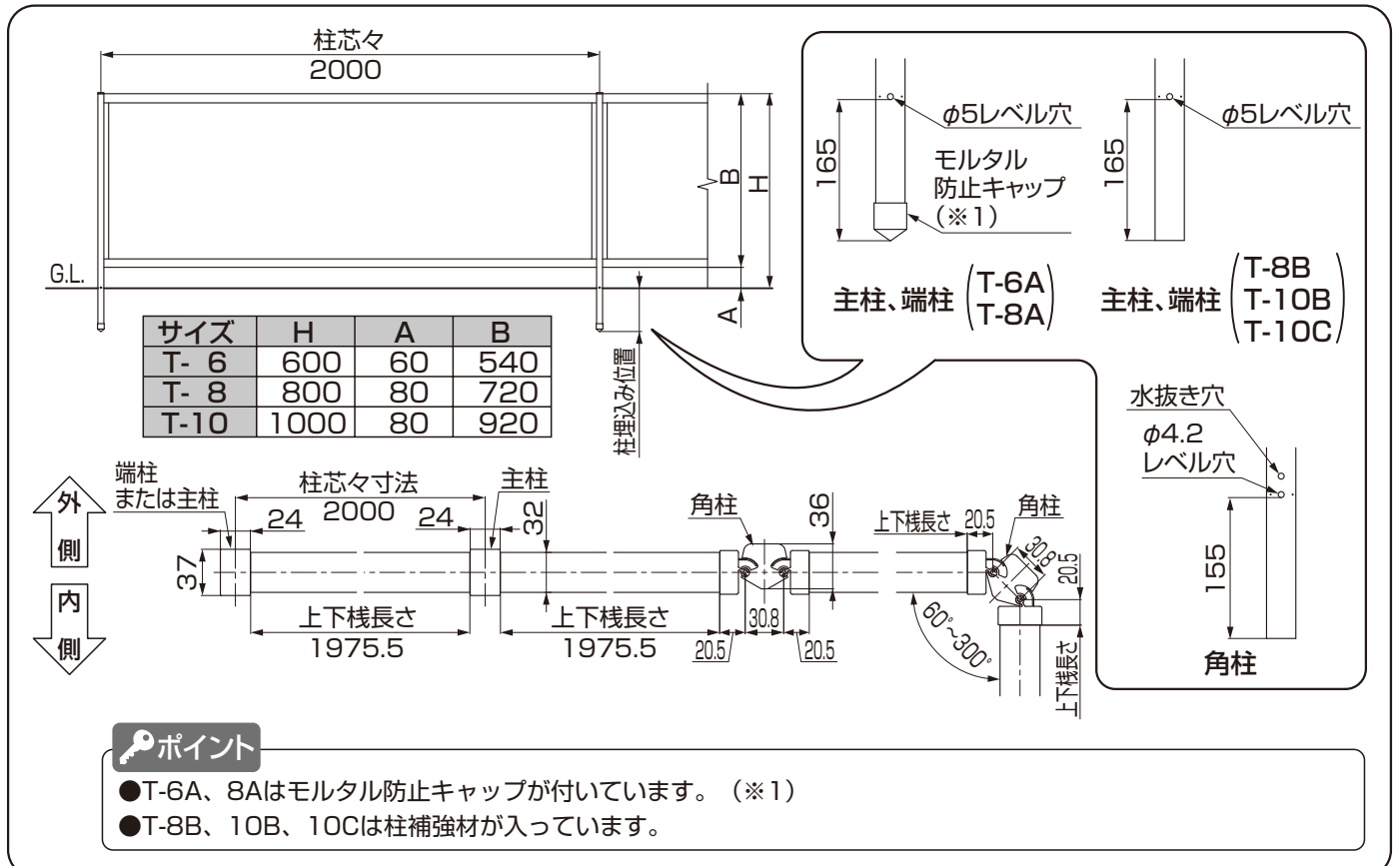
名称	略図	員数	
		LM主柱部品	LM端柱部品
上棧ジョイント(右)(左)		右各1	左各1
下棧ジョイント(右)(左)		右各1	左各1
柱キャップ		1	2
【5-1】φ4×8サラタッピンネジ1種		6(※1)	7(※1)
取付説明書 (C425)	—	—	1
取扱説明書 (UC007)	—	—	1
注意シール	—	—	1

### 【6】 LM角柱部品

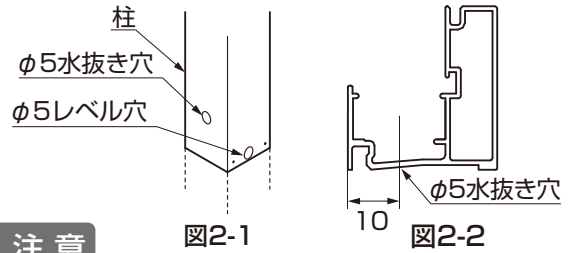
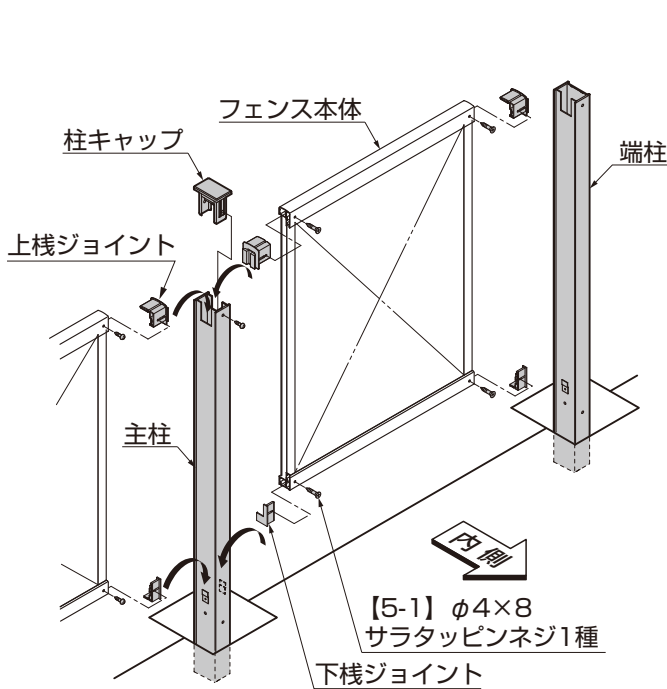
名称	略図	員数
上棧ジョイント(右)(左)		右各1
下棧ジョイント(右)(左)		右各1
柱キャップ		1
コーナージョイントキャップ(右)(左)		右各1
【6-1】φ4×8サラタッピンネジ1種		7(※1)
【6-2】φ4×12サラタッピンネジ1種		1

※1 予備ネジ1個が含まます。

## 1. 基本寸法図



## 2. 本体の取付け



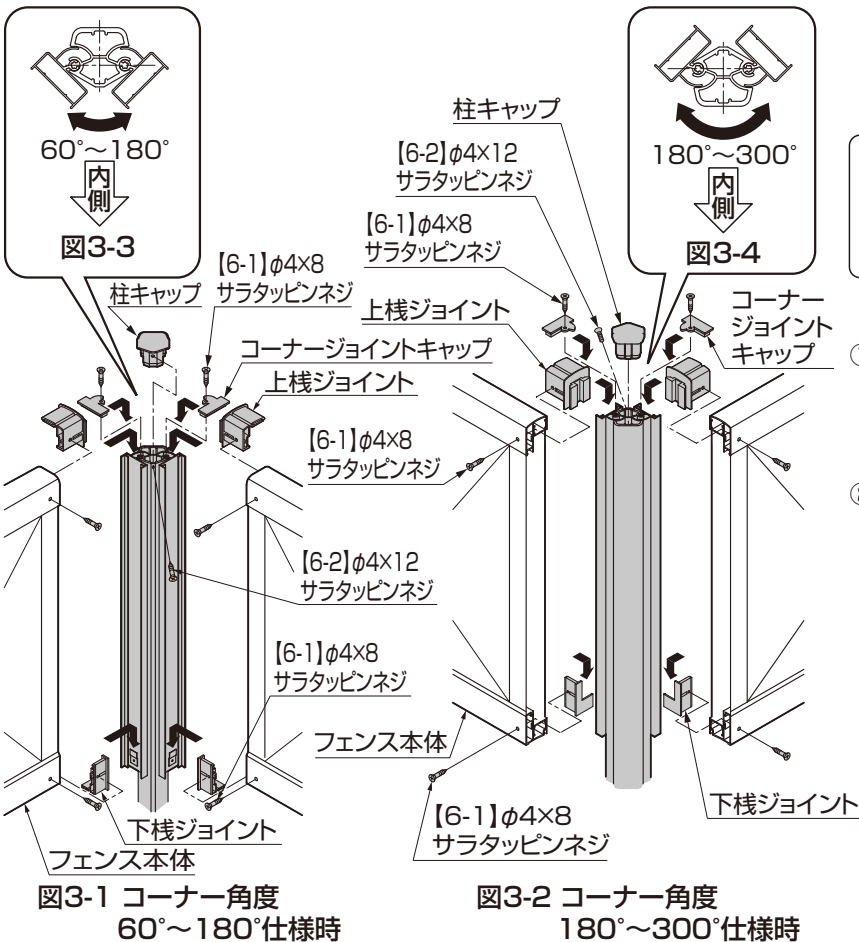
### 注意

- 柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく、溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。(図2-1参照)

### ポイント

- 柱の基礎への固定は、フェンス本体を取付けた後、モルタルで完全に固定するようにしてください。
- 水が抜けにくい場合はフェンス本体の中心付近の位置にφ5の水抜き穴をあけてください。(図2-2参照)
- 補助柱を取付ける際は補助柱を避けた位置に水抜き穴をあけてください。

## 3. コーナー部の取付け



### ポイント

- コーナー角度により、柱の向きが変わりますので、図3-3、図3-4を参照して施工してください。

- ① フェンスに[6-1]で上下棧ジョイントを取付け、角柱に差込んでください。
- ② コーナージョイントキャップを[6-1]で取付けた後、角柱に柱キャップを差込み、[6-2]で固定してください。

## 4. 本体の切詰め ※本体を切り詰める場合の作業です。

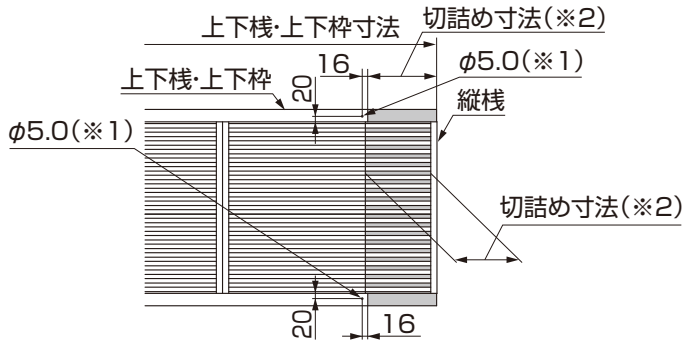


図4-1 横板フェンス(B1型、B3型、YS型、YP型、LP型、BP型、YA型)

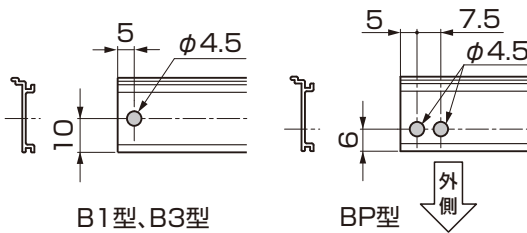


図4-2 上下枠の加工

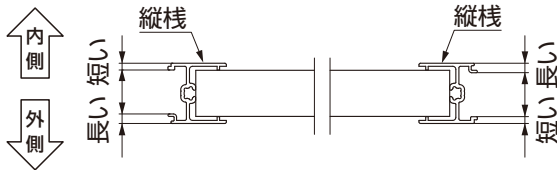


図4-3 縦棧の取付け(図はB1型、B3型)

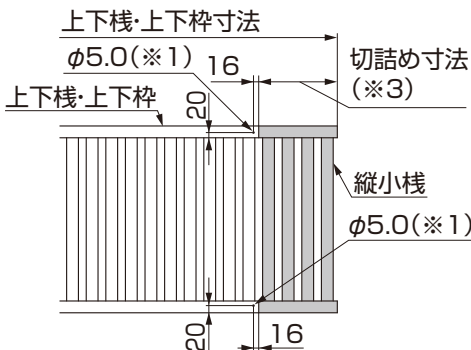


図4-4 縦板フェンス  
(B2型、B4型、TS型)

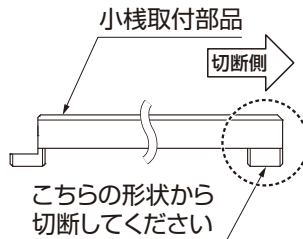


図4-5 小棧取付部品  
切断位置

① 本体の上棧、下棧、上下枠、小棧など各部材を図4-1、図4-4を参照して切断してください。

### ポイント

- 上棧、下棧、上下枠、小棧の切断する寸法は、すべて同じ寸法です。(※2)
- B1型、B3型、BP型、LP型の上下枠には加工が必要です。(図4-2参照)

② 横板フェンスは、縦棧を切断した端部個所に取付け直してください。

### ポイント

- 縦棧は内外の向きに注意して取付けてください。(図4-3参照)
- YS型、YP型の縦棧は上下の向きが、YA型、LP型の縦棧は左右勝手があります。

③ 上棧、下棧にφ5.0の穴をあけてください。(※1)

### ポイント

- φ5.0の穴加工は内側のみです。

④ 上棧、下棧、上下枠、の各部材をもとのように取付けてください。

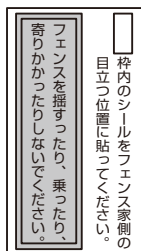
### ポイント

- 切詰め寸法は表4-1のピッチで行なってください。(※3)
- B2、B4型の上下枠の端部は、切詰め寸法より、さらに3mm長く切断してください。(※4、※5)
- 小棧取付部品の切断位置に注意してください。(図4-5参照)

表4-1

B2型	25mmピッチ (※4)
B4型	60mmピッチ (※5)
TS型	165mmピッチ

## 5. 注意シールの貼付け



① 必ず注意シールをフェンス本体または柱家側の目立つ位置に貼ってください。

### ポイント

- 注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

取説コード

**C425**

JZZ623721A  
201212A\_1041  
201607B\_1048